

科目名 (科目番号)	神経系障害の 特性と対応 (時間割参照)	教員名	永野 克人 大越 教夫	学科等	理学療法	必修	履修年次	2
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				授業形態	講義	オフィスアワー	別紙記載	
授業概要	中枢および末梢神経系の構造と機能、中枢神経系障害の病態および症候、診断、治療について学ぶ。特に神経内科領域の疾患である脳血管障害、脊髄疾患、代謝生・感染性・外傷性・機能性疾患、脳腫瘍に対する理学療法評価および治療に必要な基礎を学ぶ。							
目的・目標	目的:神経障害により引き起こされた運動障害を治療するには、まず生じている症状をよく診察して、その背景となる病態や発症のメカニズムを把握することが大切である。本講義では神経症候とその病態・メカニズムを学ぶ。 目標:神経疾患の病態、症状を理解し、それらの理学療法評価および治療を理解すること。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授 業 計 画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	中枢神経系の構造と脳画像	到達目標:神経系の構造と機能について理解する。 学習目標:中枢神経系の構造と神経経路、脳画像、脳血管について学ぶ。					
	2	中神経系のネットワークと機能障害	到達目標:神経ネットワークの機能損傷と機能障害との関連、脳卒中の回復メカニズムについて理解する。 学習目標:神経ネットワークの機能損傷とその症状、神経の可塑性と機能回復に影響する因子を学ぶ。					
	3	脳卒中の回復メカニズム	到達目標:神経の可塑性、機能回復に影響する因子について理解する。 学習目標:シナプス可塑性と機能回復機序、影響因子について学ぶ。					
	4	脳卒中の障害構造と評価	到達目標:脳卒中の障害構造と理学療法のゴール設定、代表的な評価方法について理解する。 学習目標:脳卒中の障害構造に対する理学療法評価、ゴール設定、プログラム立案について学ぶ。					
	5	脳卒中の病態とリスク管理	到達目標:脳卒中の病態、リスク管理、中止基準について理解する。 学習目標:脳出血、頭蓋内出血、くも膜下出血、脳梗塞の病態とリスク管理について学ぶ。					
	6	脳卒中の運動麻痺	到達目標:運動麻痺の定義と種類、運動機能障害に対する評価とアプローチについて理解する。 学習目標:運動制御機構や運動麻痺に対する理学療法評価と治療について学ぶ。					
	7	脳卒中の感覚障害	到達目標:感覚障害の定義と種類、感覚障害に対する評価とアプローチについて理解する。 学習目標:感覚の神経機構と障害、その回復過程、動作との関連性、理学療法評価と治療について学ぶ。					
	8	異常筋緊張	到達目標:異常筋緊張の種類、痙縮の発生メカニズムと評価、治療について理解する。 学習目標:痙縮の病態と発生メカニズム、その理学療法評価と治療について学ぶ。					
	9	運動失調	到達目標:協調運動の神経機構、運動失調の発生メカニズム、その評価と治療について理解する。 学習目標:運動失調の病態と症候、発生メカニズム、その理学療法評価と治療について学ぶ。					
	10	脳腫瘍	到達目標:脳腫瘍について理解する。 学習目標::脳腫瘍の分類、病態、症候、診断および治療について学ぶ。					
	11	感染性疾患	到達目標:脳神経系の感染性疾患について理解する。 学習目標:髄膜炎、脳炎、プリオン病、脳膿瘍などの病態、症候、診断、治療について学ぶ。					
	12	外傷性疾患	到達目標:脳神経系の外傷性疾患について理解する。 学習目標:頭部外傷、脊髄損傷、末梢神経損傷の病態、症候、診断、治療について学ぶ。					
	13	機能性疾患	到達目標:機能性疾患を理解する。 学習目標:てんかん、頭痛およびめまいなどの原因、病態、症候、診断および治療について学ぶ。					
	14	身体失認と病態失認	到達目標:身体失認、病態失認のメカニズム、評価、理学療法について理解する。 学習目標:身体・病態失認の症候と発生メカニズム、その理学療法評価と治療について学ぶ。					
	15	半側空間無視	到達目標:半側空間無視のメカニズム、評価、治療について理解する。 学習目標:半側空間無視の分類と神経機構、臨床症状、特異的アプローチについて学ぶ。					
成績評価の方法・基準	筆記試験100%、ただし、確認テストやレポート課題、演習を行う場合がある。課題および演習等の未提出や内容不十分な場合や講義マナー・迷惑行為等で注意された場合は、「注意1回につき総合点から10～30点減点」する(減点方式)。							
教科書	病気がみえる〈vol.7〉脳・神経 標準理学療法学 専門分野 神経理学療法学 第3版			医療情報科学研究所 編集 監修:奈良勲 編集:森岡周/阿部浩明		メディックメディア 医学書院		
参考図書	解剖学や生理学の教科書							
教員からのメッセージ	講義前に教科書を十分に読み、内容の理解に努めるよう予習し、また、分からないことを明らかにした上で講義に臨むこと。講義中は、書き込みやノート、マーカー、下線をするなど講義中の解説を記録すること。講義後は学習したことをしっかり理解し覚えるまで自主学習として復習すること。本科目は、一般病院、老人保健施設、訪問看護ステーションで理学療法士として実務経験を有する教員が担当します。							